

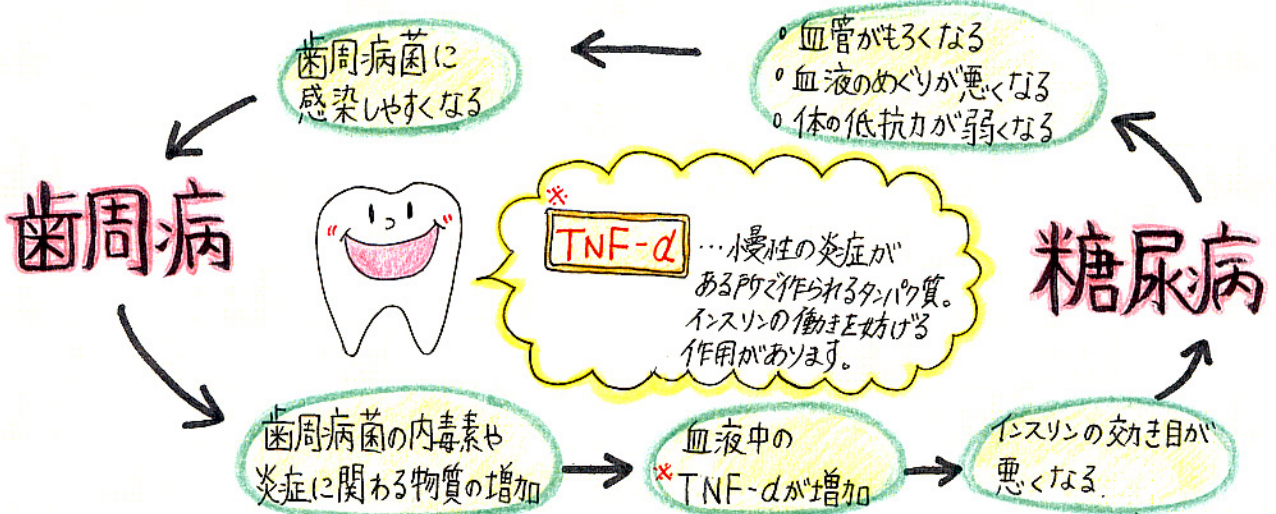


## 歯周病と糖尿病

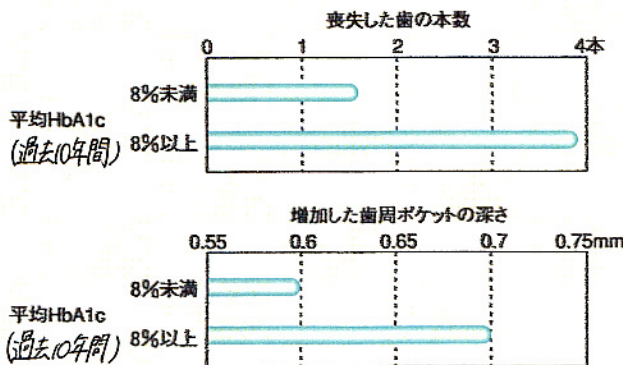
参考資料

★東京都府中保健所

近年、歯周病は、「糖尿病の第6の合併症」と位置づけられています。一方、慢性炎症である歯周病の存在が糖尿病の発症と増悪に影響する可能性も報告されており、その相互関係が注目されています。



10年間の平均HbA1cが8%を超えると、喪失する歯の本数は倍になり、また歯周病の進行程度を示す歯周ポケットの深さもさらに深くなります。



### HbA1cとは...

HbA1cはヘモグロビンA1cのヘモグロビンに対する割合は血中グルコース濃度(血糖値)に依存し、糖尿病治療における血糖コントロールの指標として用いられる。

糖尿病の方は歯周病になりやすく、重症化しやすいと言われており、それに伴い糖尿病の治療も困難になりやすくなります。

糖尿病と歯周病は密接な関係です。歯周病を治して糖尿病をコントロールしましょう。